

★神戸在住の作家が語る

新しいことはええことや



筒井 康隆 〈作家〉

「僕はゴッド・ファーザーのような大家族制度にノスタルジアがあるんです」

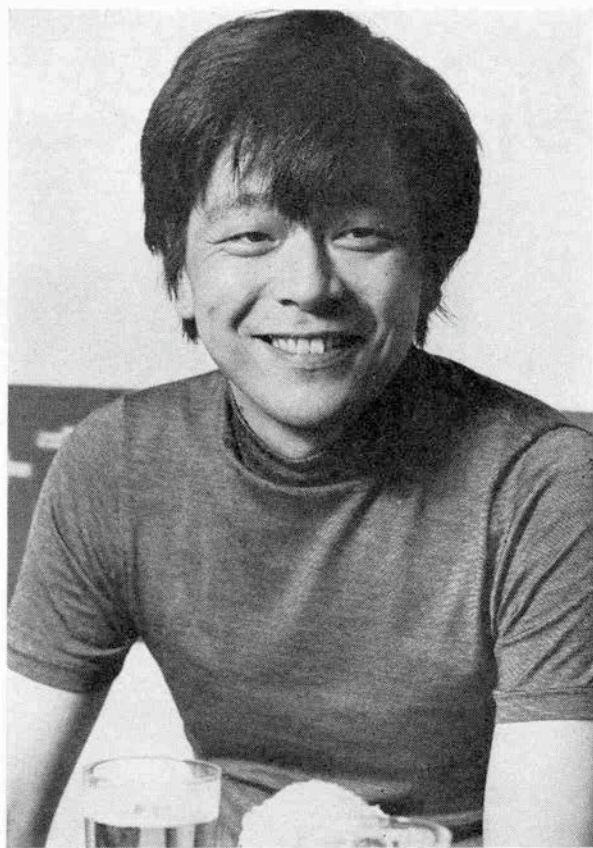
田辺 聖子 〈作家〉

「私は老若同居なんて絶対反対よ」

田辺 筒井さんは今年東京から神戸へ引越してこられたわけですが、神戸は東京よりずっと眺めがいいから楽しみがあるでしょう。

筒井 東京ではながめるよりながめられる方でしたね。周囲がずっと団地でしょ、だから四階、五階から眺められて仕事しにくい(笑)。東京の家の周りにはたしか東京で一番古い団地なんです。場所は青山にあって二DKか三Kなんです。家が賃がものすごく安くて、五千円かそこらです。だから誰も出ない。なかには親子三代で住んでる人もいるから一番最初に入った人はもう爺さんや(笑)。その子供達も青山に住んでるというエリート意識があるから出ていかない。青山に住んでるとだけいって、何も団地に住んではいいわんでもいいからね(笑)。物価も高いし、給料全部使ってしまうから新しく家建てる金はない。そこにいるより仕方ないですよ。だからもうスラムの様相呈してますね。そこにまぎれこんだらもう何されるやらわからん感じです。実際、そこで勝手に自治会つくって駐車禁止の立札なんか立ててますが、そんなところへ車停めていたら周りのおかみさん連中がワッと寄ってきてみんなで吊しあげです。こわいところですよ(笑)。

団地がスラム化すると僕がいい



筒井康隆さん

飲んでいったのよ。
私がいたく怒ったのはね、おフトンもちゃんとひいて枕も二つだしたんねん(笑)しゃくにさわったわ。ポータブルテレビとか私のガウンももって行って、他に何もとるものないものだから本棚から本ももっていつてゐるの。本といつてもね、金目になりそうな部厚い本よ。大江さんの「厳肅な綱渡り」とか瀬戸内さんの「かの子癡乱」北さんの「樵家の人々」なんか。

だしたのはそれ見てからです。

田辺 千里ニュータウンのようなスラム街ができたらしいこっちゃわ(笑)

筒井 一山全部スラムですからね(笑)

田辺 東京の家はどうされたんですか？

筒井 まだありますが、もうほったらかしているので豚小屋みたいになってます。子供が暴れざかりにおったところから、障子はやぶれてるし、棧はへし折ってる。すごいもんです。ただ泥棒が入れへんかとそれだけが心配です。鉄砲置いてますからね。

田辺 家に人がいなくなるとすぐ入りますよ。すぐわかるんですね。私、再度山の山の上にあった家、泥棒に入られて売ったの。泥棒が入って泊っていったのよ。

筒井 泊っていく？

田辺 そう、泊っていったの。食べものはラッキョウの詰めたのやら全部食べちゃって、おまけにナポリオンも

筒井 よう知つとんやね。

田辺 金目になりそうな本はよう知つとんのよ。がつちりした本ばかりもっていつて私の本は置いとんのよ(笑)

結局泥棒は捕まって物は出てきたんだけど、泥棒が入った時に山の下の交番に届けに行ったの。すると届け人は「田辺聖子」で家の持主は「川野純夫」でしよ。だから「これあんた、どんな関係ですの」って聞かれたから「これは主人ですけど、ここは別の家ですの、ふだんは荒田町の自宅の診療所におります」といつて自宅の電話番号教えといたら、交番の巡査が荒田町の診療所の方へ電話してきやはつて「あんた、奥さんですか？」っていわれるから「そうです」いうたら、「こんなこというてええんかな。ご主人、山の方に一軒家もつてはりますよ」っていうのよ(笑)「そこがこの前泥棒に入られましたんですわ」って気の毒そうにいつてはった。泥棒は捕まって



田辺聖子さん

田辺 その辺が東京の人にはちょっとわからんのかもしれないわね。大阪人はテレビ屋というか、そういう含羞があるんやね。
筒井 テレでごまかしてるだけでたいして屈折してないんですよ。東京で屈折するというたら、二つも三つも屈折して何が何やらわけがわからんようになる。この前はここに集ってちょっと騒いだんです。

もやはり本は出ませんでした。それで私あわてて「田辺蔵書」っていうハンつくってベタベタ押したの(笑)

★「筒井さんの処女を守る会」つくっては……

田辺 この前の直木賞の発表の時はここへ集って飲みはったんですか？

筒井 ええ、まあね。もうもうたも同然やいうてどんな騒ぎしよう思うて。

田辺 前に筒井さん、あんな賞なんかいらんいうてはったでしょ？

筒井 ええ、いつてました。

田辺 そうやからあたしね、編集者や新聞記者の方が来やはったら「筒井さん絶対いらんいうてはったよ」っていったの。「もらいはってもやめときいうたんねん」って。筒井さんは何となく賞をもらいはらんへん方がいいみたいね。

筒井 文壇バーのママや女の子はみなそういうんです。

もらわん方がいいって。もろた人はその瞬間から変っていやらしいとか。

田辺 だから「筒井さんの処女を守る会」っていうのつくったら(笑)

でも阿倍牧夫さんと二人でだいぶ荒れたっていううわさが伝わってるのよ。

筒井 いや、もう、あの前後の話は「毎日新聞」に書いたけど、みな東京や大阪からわざわざここまで取材に来てくださるんだから、賞をとる、とれへんはともかく、そういう人たちのことの方が気になって、当日ここでサービスいたしますからみな来て下さいということにしたんです。

文春の担当者から「残念でした」って電話があつたでしょ。すると、「いや、そんなはずはない。そんなはずはない」って面白半分でいってると、むこうはそうは思わないからかえってむこうがショック受けて、次の日から寝こんでしまったらしいです(笑)

田辺 その辺が東京の人にはちょっとわからんのかもしれないわね。大阪人はテレビ屋というか、そういう含羞があるんやね。

筒井 テレでごまかしてるだけでたいして屈折してないんですよ。東京で屈折するというたら、二つも三つも屈折して何が何やらわけがわからんようになる。

この前はここに集ってちょっと騒いだんです。

東京だったらかなり無茶なことしよっちゅうしてますけど、ここだったらやはり目立ちますね。

田辺 それは全体にあるでしょ。東京で普通のことここでは目立つっていうのは。私、東京で暮したことないから、かえってこっちから東京へ行くと、何かにつけてみなすごく突飛な感じがするわ。

★バッテリーかかえて「御用ノ 御用ノ」

田辺 筒井さん、この前の神戸まつりみやはってどうでした？

筒井 あとでサントテレビでしゃべったけど、やっぱり一番最後のサンバがもうちょっと長く続いたらよかったと思いますね。神戸まつりは京都の祇園祭のような伝統的なお祭りとは違うんですから、やろうと思えばもっといろんなことがやれたと思うんですが……。

田辺 神戸のまつりはいいですね。祇園祭というのは若い人のお祭りっていうんじゃないですか。京都って、実際にくだらないことをものしくやるなあって、ほんとにそう感じたなあ。大変なお金もかかってますしね。あの稚児さんだって数百万円要るんですもの。

筒井 鉦とか人形なんかの保存にもずいぶんお金がかかるんでしょうね。

田辺 京都ってお金もうけの町とちがうんだから、やっぱりあんなお祭りでもして人集めないとね。

筒井 六五万人集まったというのはやはり伝統の力でしょうね。それだけにお金もおちるでしょうし。

田辺 私、祇園祭の日、京都の市役所の真前にいたの。するとあの前で長い時間かけて鉦が賑りはんのやけど、一台来たら次のが気をもたせて仲々こないの。早く来てくれたらいいのに暑いとこに座って汗タラタラ流して待ってるのに仲々こない。もう待ってるのしんどうなってね（笑）

筒井 待ってる間に、次はどこそこで誰がでるといった

うわさ話をするのが楽しいんやろね。

田辺 大阪人てのはせっつかちなね。だって京都はお囃子からしてのんびりしてるでしょ。天神さんのお囃子というのは速いんですよ。「コンコンチキチン、コンチキチン」っていうんですが、京都は「コーン、コーン、チーキ、チーキ」（笑）忍耐力ためされてるような感じしたなあ。

筒井 天神さんの方は川もありますし、夜、涼みがてら行くということもできますしね。

田辺 祇園祭は太陽がギリギリ照りつける中を、あんな雲をつくような、気の遠くなるようなものをエッチラ、オッチラ引っぱってきてね。あれには感心したわ。

筒井 僕は学生時代京都にいましたので時代祭によくアルバイトで出ました。でもあれ暑いんで、日射病になったらかなわんからやめたけど。

田辺 あれはもうみんなアルバイトね。時代祭で眼鏡かけたアルバイトが「よう／＼」なんて沿道の友達に挨拶したり、アイスクリームをなめながら歩いたりしてる。それから、あのちまきの中には何にも入ってないのね。私ら二本とったんやけど、お腹空いたらこれ食べようねなんていったら中に何にも入ってない（笑）

筒井 あれはあのままもって帰って一年間飾ったかな厄除けにならんがな（笑）

田辺 あれ開けたんよ。

筒井 そら、知らん人は開けるわな（笑）あれはそのまま玄関に飾ったかなあかん。

昔、「大映京都」ってあったでしょ。僕アルバイトといえはあそこでエキストラしてた。夜中から涼みがてらに行こか、いうて「御用ノ 御用ノ」やらされた。

あれはね、ちようちんもってるみたいやけど、ローソクだと燃えて危いから、手にコードを通し、腹に大きなバッテリー入れて、「走るぞ／＼」いうたら、すぐバッテリーにスイッチ入れて「御用ノ 御用ノ」いうて走ったんです。ところがバッテリーが重とって、重とって（笑）

田辺 山の中で寝てる間に他のエキストラが全部帰ってしまったので、一人だけ残されたという話よく聞きますね。

それで「どないしょ」いうて撮影所へ電話したら、「そのまま帰ってこい」いわれて、チョンマゲのまま電車に乗って帰ってせつなかったいうてね(笑)

筒井 京都はようそんな人乗ってます(笑)

★老若同居なんて絶対反対！

田辺 最近「恍惚の人」という小説が出たでしょう。

私、老若同居なんて絶対反対なの。だって老後は一人で死ぬって戦中派はみな考えてるでしょ。核家族の限界論なんて今出ているけど、あれは非常にいけないですね。

核家族なんてまだ全然普及してなくて、ほんの一握りですよ。だから核家族がいきつく先になって、つまりスウェーデンのように老人が一人になってどうにもならないようになるまでもっと時間をかけないといけないです。

戦後まだ二十七年しか経ってないのに、それでも限界論なんか出すのはやっぱり早いと思うな。もっともつと核家族が進んで、人間がもっと孤独に徹しないとダメですよ。

本当にこれでは生きられないというところになってはじめて、老人も若い人もいっしょになって同居するといふふうにならないとね。

日本人というのはいい加減なところでウロウロするわけね。

「これはやっぱり、こっちの方がよろしゅうおまつせ」という人がむやみと多いの。

年寄りなんか今そんなに甘やかすことないと思うな。

我々だって一人で死ぬって覚悟今からもってるべきだと思えますね。

私だって若い者なんかにウンコやオシッコの世話させようとは絶対思わないわ。一人でのたれ死にすべきだと

思うな。

筒井 僕はちょっと違いますが、今「ゴッドファーザー1」っていう映画がはやってるでしょう。

あの映画のように、子供や孫全部かかえて全部わしが面倒みてやるっていう根性もってないダメだと思わうですね。今そんな人はどこにもいない。

うちのおやじは男の子四人生んでるわけですが、僕は昔の大家族制度みたいなものになんとなくノスタルジアがあるんです。

おじいさんが孫にいろんなことを教えていくというほほえましい風景がほしいんです。それでうちに来てくれているんですがどうしても来ないんです。死ぬまでわしらは二人で暮す、とおやじとおふくろはいっているんです。

田辺 立派やね。そういうのが理想的やわ。

筒井 子供が四人いて、四人共家を出てしまったんです。が、よくあれで淋しくないのかなって思います。

田辺 私なんか、女から見た嫁、姑の凄絶な戦いというもの何代にもわたって見てるわけですよ。

私の母は、私にとってひいおばあちゃんがいって、おばあちゃんがいって小姑がいっぱいいいて、そして雇人がいっぱいいて、というところに来たでしょう。そんな状態を私なんかつぶさに見てますから、絶対いやね。気が合えばいいんですけど、気が合わない人間同志が何の権利があって誰がおらせるのかっていう気がしますね(笑)

だから私絶対に同居せなあかんというふうな鉄則をはめてしまったら、日本の悪い家族制度がまた復活するのと同じだと思わう。

みんな好き好きにしたらいいんだけど、偉い人っていうのは皆、「こうすべきだ」とか「ねばならぬ」っていうのが多くて、そんなことまで小説に書きはるのいややわ(笑)

筒井 おじいちゃん、おばあちゃんから孫の代までずっと一緒に住んでいけるとすると、もう全然血のつながりの

ない人が何人も同じ家の中にいることになりますから、そりゃ当然いろんなことがでてくるでしょうね。

田辺 そのしわよせはみんな女にきますから。

筒井 男はそれをみてたらよいわけですが。

田辺 そして朝になったら会社に行きよんねん(笑)

筒井 うちへ帰ってきたら女房おらんでも誰か女の人出てきてとにかく世話してくれる。

田辺 だから家族制度っていうのは男にとっては非常に便利なのよ。

筒井 僕が大家族制度にノスタルジアがあるのはそれだな(笑)

田辺 男はみんな家族制度を支持するわけ。女にみんなしわよせがきて、女はかなわないからみんな核家族になっ

っていつちゃう。

だから私はもっとと女性文化がすすまなあかんと思うの。女臭ふんぶんたる世代にならなあかんよ。

家が古いと、親戚の人で行き場のないおばさんとかおじさんの連れあひとか、そのまた甥とか姪とかが多くて、またそういう女の人というのはよく動きまわすから、家が古いといつのまにかそういう人がたまっていくのね。

配り場のない手札のようになんぼでもたまっていく(笑) 三代前の知りあひとかいうおばさんやばあさんま

で転がりこんでくるの(笑)

筒井 そういうのもおもしろいな。集めよかな(笑)

田辺 おもしろいんですけど、そのへんになるとたまらないんです。そしてまた整理して、一からカードを切りたくなってくる。ところで、筒井さんはお父さんやお母さんとケンカをなさったりするの?

筒井 昔はよくしましたが、オヤジは今はもう仏さんみたいになってしまっ

て今は全然しません。

★赤軍派事件は文化人のリトマス試験紙

田辺 赤軍派なんかみてる、オヤジさんがいつも出て

きて謝るのにオフクロさんはいつも影にかくれてるでしょ。それが不思議やね。私も、息子がよくそういうことをグチグチいったりするから、もしそうだったらどうしようかと思つて(笑)

でもあれにはびっくりしたわ。ちゃんとまともなことをいうと思つていた人までが「親の責任だ」なんていうんだから。あの事件は私にとっては文化人のリトマス試験紙だったわ。

筒井 僕なんか息子のすることが絶対正しいと思つてるから、息子が赤軍派に入ったら、シンパになつて機関銃運んだりするんじゃないかな(笑)

田辺 親と理論闘争してるうちはまだいいんですけど、もう親なんて教育してもダメだと思ひだしたら恐いわね。親には親の立場や考えがあるんだらうけど、なんていうところへ息子がいつてしまえば、もう呼べど叫べど帰らないと思うわ。

親とカンカンになつて議論してるうちが花よ。それを「親の責任」ていうんだからあきれたなあ。文化人の正体みたりっていう気がしたわ。

筒井 学生がああいうふうになるのは、結局先の望みがないというのが一番大きな原因だと思ふなあ。先がどうなるかわかっていると誰しもカッとなる(笑)

田辺 サラリーマンみたいにあと何年たつたら課長になり、部長になるってわかつてたらつまらないでしょうね。

筒井 僕も最初会社に入つて、しようもない仕事やらされてね、死ぬまでこれかと思ったらほんまにオシッコちびりそうになつた(笑) こら、どないしょ思たもんね。

だから僕は子供に、お前は何にでもなれ、何にでもしてやるっていつてるんです。

田辺 でもね、息子がシンナー遊びしたり、女遊びしたりして、「おとつあん、一寸おこづかいくんははれ」いうたりされるとかなわんでしょ(笑)

筒井 そうなるのはお父さんが偉すぎるからとちがいま

すか。

田辺 筒井さんだとその恐れがあるやないの。

筒井 こっちは子供といっしょになってする方だから。

今でもラリラリヤのに(笑)

田辺 おやじってのはあんまり偉すぎるとダメでしょうね。親のダメなところをみて子供は成長するんだと思うわ。

★神戸は中年の奥さんがきれいや

田辺 私、神戸に住んでいて、最近新しいものつていいものだなあって感じてきたの。「たたと亭主」じゃないけど(笑)

テレビなんかでも古いことという人があるけど神戸に住んでると何かそういうことに理解がなくなってくるの。

この前もテレビやったか、中学生集めて非常にケチな人が「あんたら、朝起きてお仏壇おがむか。あんたら生きてんのはご先祖のおかげだよ」ってなこといつてるの。神戸にいとそんな聞くと非常に違和感を感じるわ。

筒井 しかし神戸の人って歴史つてものを非常に大事にしていますね。自分の住んでるとこの歴史はみんな一応心得ているような感じがしますが。

田辺 そうですか。

筒井 それに神戸には古本屋がたくさんあるでしょ。そして東京にはないようなけつたいな古本がたくさんある。神田には古本屋ようけあるけど、みんなベストセラーの古本ばかり。こっちだと「チューインガムの歴史」なんていうおもしろいがある。

本屋のおじさんに「こんな本ありますか」って聞くと「それやったらその棚の何番目にありますよ」ってみな頭のなかにいれてるんですね。

東京からみると地方文化人になるんだろうけど、すごい人が時々いますね。

田辺 そういう「好き者」つてのはいますね。

筒井 その「チューインガムの歴史」というのを買おうと思っただけ高いからやめた。

田辺 そんなに高かったの？

筒井 高いですよ。他にそんなのないもの。ハリスとかこの研究所でだいぶ前に出したんです。

パラパラめくってたら一番最後に「風船爆弾」というのが出てきてね。終戦末期にアメリカへ飛ばしたやつ、あれ、原料はチューインガムなんやね。

医学関係でも「甲状腺ホルモンの歴史」というような

のがあるんです。それみてたらおもしろくなって悪のりして「ホルモン」という小説書いた(笑)

田辺 神戸は中年の奥さんがきれいな人多いわね。娘さんもきれいやけど。中年の奥さんがきれいやわ。

筒井 かわいらしいおばあちゃんも多いようですね。

田辺 時々へんにあかぬけたおばあちゃんがいるけど、それは華僑の人ね。背がまっすぐで、華僑のおばあちゃんはいきれいわ。

筒井 それから、神戸にはとんでもない金持ちがいますね。

田辺 御影の辺りもすごいわよ。白鶴美術館の辺は高級住宅地で、いけどもいけども塀が付きないの。大きな家やなあ、と思っただけみると名前が「黄」とか「陳」とか……。あのへん不思議やね。

ところで、西宮の「播半」はいきはった？

筒井 まだです。

田辺 それじゃあ、まだだいが遊びはらんなんところあるわ(笑) 一山全部料亭なんですけど、山や谷があつてすごい。ああいう眺めはちょっと東京の料理屋にはないみたいね。もみじがきれいやから今度秋に行きましようよ。

筒井 歩いて神戸の街をおぼえないとね(笑)

〈垂水の筒井康隆さん宅にて〉

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店/三宮センター街・電話 331-8836(代)

東店/三宮センター街・電話 331-0629

三宮店/さんちかタウン・電話 391-4303

東京

銀座コア店/4階着物コア・電話573-5298(代)

渋谷東急店/5階和装名家街・電話462-3409(直)

日本橋東急店/4階和装名家街・電話211-0511(代)
(内線294)

池袋パルコ店/4階着物小路・電話987-0561(直)

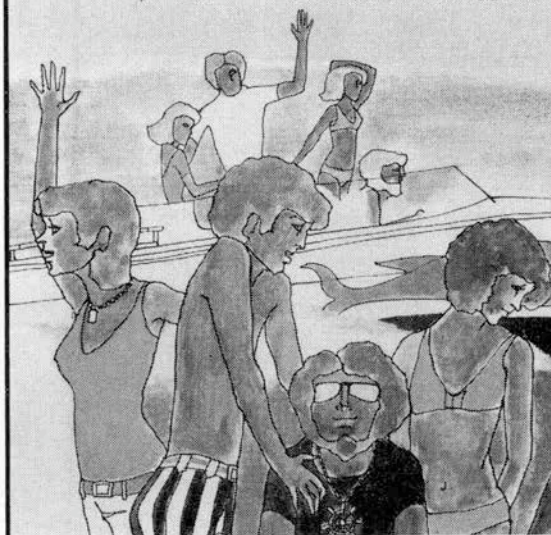


New 2000GX フルステレオ



デジタル・ステレオ・ラジオ

標準価格 17,300円
(ラジオ16,955円 イセホン・電池345円)

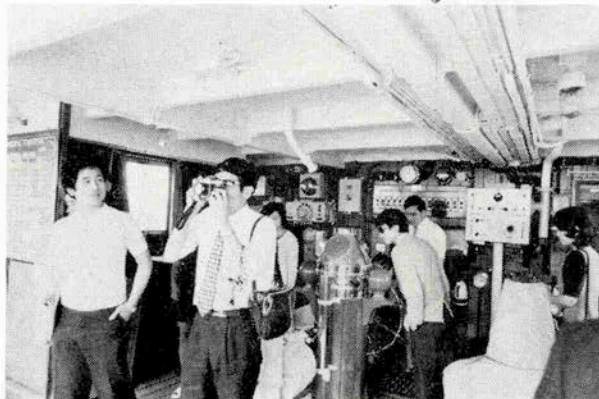


元町家電(株)

神戸市生田区元町通6丁目25

TEL (078) 351-0081

コウベシップクラブ進水式



船内見学をする会員たち



オリエンタルカーナバル号サロンで

★港湾ストも解決し、海の記念日も近い七月十五日。神戸港ポートターミナルに入港中のリベリア貨客船オリエンタル・カーナバル号（一六六・一トン）の船上で「コウベシップクラブ」の進水式が行なわれました。

何しろ台風接近で、ヒョッとすると船は港外に出てしまう恐れもあり事務局はヒヤヒヤもの。運よく午後一時からは晴天に恵まれてラッキーなスタート。百八〇名近い会員の内、この日は約百名が参加しました。あいにく、キャプテンの作家陳舜臣氏も、副キャプテンの小川直彦氏も都合わるく欠席で、神戸っ子編集長の小泉康夫が代役をつとめました。

この船のパーサーに花束と人形を贈呈し、エージェンシーのオリエンタルシッピング（生田区三宮町一四三）平幸さんが、最近の客船状況をいろいろと話し、優雅な船旅が、経営合理化の波に、キャンベラ号を初めとして日本への定期客船の激減や、また、貨客船の船旅の安くて日数さえあれば、楽しいことなど話題はつきません。

また、この日「コウベシップクラブ」と名付けた篠崎俊生さん（ダイエー勤務にはキャンベラ号のパネルが贈られました。当日は女性会員が七割で、中国調のサロンは花が咲いたよう。遠くは福井県からかけつけた人や、京都、姫路と遠路はるばるの会員さんなど船ファンはさまざま。中学生から高齢の方まで幅広い層にあらためてびつくり。最後はシャンソン歌手の堀郁子さんの「メルなど海の歌のピアノ弾き語りがあり、船中での楽しいひとときをすごしました。

★八月三日のコラルブリンセス号上パーティは、入港



篠崎俊生さん

中止となつて、あえなく例会も中止、七月二十九日、八月五日の二日間、スワイヤマツキンノン（生田区江戸町一〇三）で、コラルブリンセス号とキャンベラ号のスライド会が開かれ、フリー参加で行なわれました。

★九月例会は、スワイヤマツキンノンの好意により九月三十日アーカディア号（三二〇〇トン）の見学予定。

★事務局神戸っ子編集部TEL（221）7037

風俗学入門 ⑦

結婚心情

あの人、この人、天びんにかけて、やっと
きめたのこの人と、思って結婚してみたけれ
ど、やっぱり駄目だわこの人は、金をもった
る両親ハサン、金があてじゃないんだけれ
ど、すっかり駄目だわこの私。
気がつき子供が二人にふえて、気がつき
やローンの借金ふえる。ちなみに回数へるだ
けなのに、やたら飲む飲む精力剤。あんな
んか見えるのもいやと、そむいた顔が、夕日
に映えてさびしくうつる。そっと見上げる子



向井修二

(向井アートコミュニティ)

いつのまにやら、めざめた私、はかないロ
マン心にひめて、いよいよきました適齡期
やさしい彼はお金はないし、イヤ味な彼は
お金はあるし、どちらにしましょうこの私。
でもでもやっぱりこれから先は、親のすす
める見合いもしたい。
私を自由にさせてくれりゃいいな、身長高
けりゃ増々いいな、男らしくて誠実なりゃい
いな、そのうえハンサム、家もつてりゃいい
な、いいな、いいなとさけんでりゃいいな。

供が可愛い。「あんたノ」と呼ぶにはまだ年
しや若く「あなたア」と呼ぶには、かせぎ
はないし、どう呼びゃいいのさこの私。

「とうちゃん」「かあちゃん」なかよくし
なと子供は知ってる母心。

料理が下手で、掃除も下手で、そのくせ言
うのは権利だけ。

時々訪ねるセールスマンに、ちらりと感じ
る浮気な心。でもでもやっぱり私は黙目ね。

こんなことでは古いと思い、たれちちつりあ
げブラジャーきつく、出かけた姿がまた可愛
い、てめえの子供が悪いのしらず、やたらに

親馬鹿PTA

「いい子ちゃんにはお金」と思う子供が多
いこと、そのくせ子供は放任主義と、ついで
にダンナも放任主義と思えばちがう女とは、

なんと難かしいことなりや。

生命保険の金額ふえて、ガッチリためたお
金もふえて、やっぱ買ったはブレハブハウ
ス。テレビで見るとは大きなちがいが、家具を
入れたら増々せまく、子供大きく増々せま
い。

親は子供の眼を気にしはじめ、子供は親
を冷たくながめ、どうすりゃいいのさ私達。

こんなはずではなかったはずと、ニッコリ
ナデナデ親心。まったく悲しい現世と、全っ
たく乱れた現世と、思えば思えるこの世の中
でお金も信じていられない。

そんな心が重くてなげき、ガス管くわえる
手元がゆるむ。

こっそりのぞいた子供の顔は、夢と希望で
ハレバレさえて、そっとよりそうグラマーち
やんと、二人でつぶやくその言葉

「ああ人生はくり返す」



呉服の粹

赤

坂

本店 神戸市生田区元町通六丁目
(341)五五一八・八六五三
大丸前店 市電大丸電停山側(391)三一六四



お慶びの日に

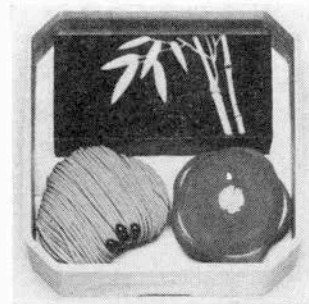
日本的なおくゆかしさを
美しく格調高いデザインで
えがき出された

晴れの門出を祝福する

この日のためのお菓子

松竹梅・松鶴亀

三ッ盛御引菓子



ウェディングケーキ・キャリヨン
寿ゴーフル・マロングラッセ
紅白上用饅頭・紅白むし饅頭

神戸にそだって75年

扇 月 堂

元町3丁目 TEL391-2412~5

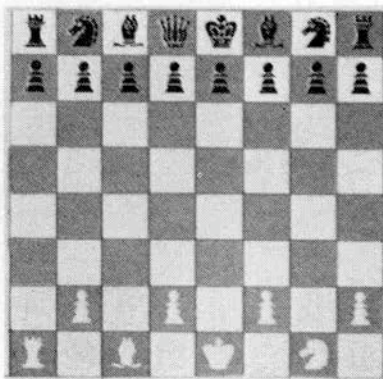
さんちかスイーツタウン TEL391-3455

神戸遊戯誌108



▲ K C C・山口昭一郎氏（桃山学院大学）

▼駒のならべ方（小学館大日本百科事典より）



チェス①

青木重雄

★日本の将棋とは関係深い精神的差違

私など戦前からチェスという「西洋将棋」がわが国にもヨーロッパから輸入されて、文化住宅などに住んでいる金持ちや知識階級の一部の人々の間でこっそり行なわれていることを知っていたが、もともと日本の将棋とチェスとは根源を同じくするものといわれている。つまり今から約五千年前のインドのチャトルアングというゲームが将棋のハシリで、それがヨーロッパではチェスとなり、中国にも渡って象棋（チャンチー）となった。日本には中国から奈良時代に伝わり、はじめは中将棋と小將棋の二種があった。中将棋は取った駒を使わずに捨てるルールでチェスに似ているが、現在でも関西地方の一部に残っている。小將棋の方は取った駒を持ち駒として使うなどの改良を加え、室町末期に現在の形になったわけである。そして安土・桃山時代に初代名人大橋宗桂（そ

うけい）が現われ、将棋を盛んにし、江戸時代には全国的に行なわれるようになった。

このように同母異子の間柄だったから、日本の将棋士の間にはチェスの愛好家が多く、また、これを娯楽商売に使おうとした前例が少なくなかったことも当然なことだったろう。だが、どういうわけか今日まで棋士がチェスの活用に成功したケースを私はあまり聞いたことがない。神戸でも昭和二十五、六年ごろだったと思うが、新開地ふきんに住んでいた将棋の故木下七段が阪神電鉄元町駅西口ビルの何階かにチェスの講習所を開いたことがあったが、しばらくして閉鎖したことをおぼえている。当時はまだ将棋どころの余裕のなかった頃だから、それもはやらなかつた原因の一つだったと思うが、もう一つの原因に精神的なもの——つまり両者の国民的、歴史的伝統に根ざした差異をよく味解せずに、将棋の専門家がチェスを安易にはやらせようとした態度にもファンの共

鳴を得られなかった原因があったといわれている。日本の将棋はプロは別として一般的には元来庶民の一番親しみやすい娯楽として娯楽本位、勝負本位に行なわれてきたわけだが、チェスの場合はむしろ同じ要素を持っているが、同時にもっと幅の広い国際性と社交性を帯びているのである。日本の将棋はいわば昔も今もほとんど日本人同士の間だけで行なわれているが、チェスの場合は欧米各国人ももちろん、今や世界の各国の間で行なわれているのである。一言でいえば島国根性と国際社交性の差である。

だからチェスではただ単に勝負を争う（むしろ重要な目的だが）だけではなく、チェスマンはおたがいにチェスの持つ国際社会性と騎士道精神（友愛精神）を重視し、日本人同士でも、外国人との場合でもゲームの交歓を通して、あわせて世界に通用するセンスとマナーを身につけることを学ぶ必要がある。

説明が少しむずかしくなったが、このことは欧米へ出かけた人々がかならず教えられるところである。社交場、ホテル、レストラン、喫茶室などには大抵いチェス盤が置かれていて、客が気楽に打ち興じられるようになっている。ことはが通じぬエトランゼでもチェスをやることによって、たちまち親しくなれるケースはヨーロッパではとりわけ多い。それだけに友愛精神に裏づけられた正しい社交的マナーを身につける方法としてチェスはヨーロッパ各国では昔から伝統的に活用されて来ている。そういうシーンは戦前戦後を通じてわが国に輸入された欧米映画の中にもかなりあったことを知っている人も多いだろう。いわば、とりわけヨーロッパでは中世の貴族社会の花やかな社交界において欠かせぬ社交術の一つとなったチェスは、現在までその役割りを持続しているわけである。

文献によると、プラトン、ナポレオン、ルイ十四世、ルソー、トルストイなども熱心なチェス愛好者であったことが記録されている。それが現代ではいつそうポピュ

ラーになり、たとえば、バリなどでは、シャレたカッフエにはかならずチェスセットが置かれており、モンパルナスのマロニエの木蔭、カッフエテラスでお茶をのみながら、老人同士や若い男女が、楽しくチェスに打ち興じている姿が見られる。

もっとも戦前の日本でも夏の夕涼みなどにしようぎ（床几）で将棋をさしている人々の風景がよく見られたことが思い合わされるが……。

そこでこうした正しい意味でのチェスの国際性をよくのみ込んでチェスをおぼえ、チェスプレイを楽しもうという目的で昨春秋、大阪に山口昭一郎氏（桃山学院大学）の呼びかけで関西チェスクラブ（事務所＝大阪市阿倍野区西田辺町一丁目一番二十六号、電話三五一一八〇〇七、略称K・C・C）が誕生している。

会長は竹内正巳氏（桃山学院大学長）、事務局長、池添皓氏で会員は現在七十余人だが、京阪神の人々がほとんどで、特に阪神間および神戸在住の人が多い。海港都神戸や阪神間に会員が多いのは当然といってよからう。

年齢は二十歳代から六十歳代までで、三十歳代について二十歳代が多く、職業別では学生が約半数で最も多く、ついで会社員、大学教授、商店主といったところ。

女性会員は若い人ばかり十数名だが、例会および試合などの出席率は今までのところ男性より女性の方が平均よく、熱心だとは同クラブの話である。

なお、神戸支部は生田区三宮町三丁目二二のロースト・シテイ（電話＝三三一―三七七〇）内に置かれているが、同支部長は同店経営者でパンジョー奏音の野崎謙治氏である。

また、同次長は阪急沿線六甲で六甲ギャラリイ支配人をしている岡田英男氏である。他に女性会員の美田明子さん（神戸薬大卒、薬剤士）が社交部長の役目を果たしている。（四七・七・三十記）